

CS1732B/CS1734B

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS1732B/CS1734B 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2008年6月1日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

- (1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口へ連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。
- (2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。
- (3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年8月20日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

【補足】

- ・ 本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・ 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・ 製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

FCC.....	8
RoHS	8
SJ/T 11364-2006	9
安全にお使い頂くために	10
一般的な注意.....	10
同梱品	12
本マニュアルについて.....	13
マニュアル表記について	14
第1章 はじめに	15
製品概要.....	15
特長.....	17
必要システム構成.....	18
コンソール.....	18
コンピュータ	18
ケーブル.....	18
OS.....	20
製品各部名称	21
フロントパネル	21
リアパネル.....	24
第2章 ハードウェアセットアップ	26
ケーブルの接続.....	26
ポート番号の割り当て.....	29
ホットプラグ	29
終了と再起動	29
第3章 キーボードによるポート操作.....	30
ホットキーによるポート切替.....	30
ホットキーモード起動	30
アクティブポートの選択	31
OSD/ホットキー ステッカー	31
ポートのダイレクト切替.....	32
オートスキャン.....	34
スキップモード	35
ホットキー一覧表.....	36

第4章 OSD 操作.....	37
OSD 概要	37
OSD メイン画面.....	37
OSD ナビゲーション	38
OSD メイン画面	39
OSD 機能	40
F1:KVM	40
F2:USB.....	40
F3:オーディオ	40
F4:スキャン	41
F6:セットアップ	41
F7:PN	46
第5章 キーボードエミュレーション	47
Mac キーボードエミュレーション.....	47
Sun キーボードエミュレーション	49
第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ.....	50
アップグレードの前に	50
アップグレード開始	51
アップグレード成功	55
アップグレード失敗	56
メインボード上ジャンパのショート方法	56
付録.....	58
OSD の工場出荷時における初期設定一覧	58
製品仕様	59
トラブルシューティング	62
概要.....	62
SPHD コネクタについて	64

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

安全にお使い頂くために

一般的な注意

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。
 - 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
 - パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
 - お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS1732B/CS1734B 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

◆ CS1732B/CS1734B KVM スイッチ	×1
◆ カスタム KVM ケーブル (CS1732B)	×2
◆ カスタム KVM ケーブル (CS1734B)	×4
◆ USB-PS/2 コンバータ	×1
◆ ファームウェアアップグレードケーブル	×1
◆ 電源アダプタ	×1
◆ 英語版ユーザーマニュアル	×1
◆ 多言語版クイックスタートガイド	×1
◆ OSD/ホットキー ステッカー	×2

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS1732B/CS1734B に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:** CS1732B/CS1734B を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。
- 第2章 ハードウェアセットアップ:** CS1732B/CS1734B セットアップ方法について説明しています。
- 第3章 キーボードによるポート操作:** CS1732B/CS1734B におけるホットキー操作の概要、および操作方法について説明しています。
- 第4章 OSD 操作:** CS1732B/CS1734B の OSD (オンスクリーンディスプレイ) の詳細内容、および操作方法について説明しています。
- 第5章 キーボードエミュレーション:** Mac キーボードのエミュレーション、また、Sun キーボードのエミュレーションについて対応表を用いて説明します。
- 第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CS1732B/CS1734B のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

第1章 はじめに

製品概要

CS1732B/CS1734B は USB2.0 ハブを搭載した 2/4 ポート KVM スイッチです。ユーザーは本製品によって 1 組のキーボード、モニタ、マウスから 2 台/4 台のコンピュータを操作することが可能です。

CS1732B/CS1734B はコンピュータとの接続に使用するキーボード・マウスのインターフェースが、USB と PS/2 の両方に対応しています。同梱の KVM ケーブルを使用してコンピュータと USB 接続を行う場合、さらに CS1732B/CS1734B 本体に搭載された USB 2.0 ハブを使用して、USB 周辺機器を共有できるようになります。

また、製品同梱の USB-PS/2 コンバータを併用することによって、USB キーボード・USB マウス、PS/2 キーボード・PS/2 マウスを混在させてコンソールとして使用することが可能です。

CS1732B/CS1734B の特長である非同期スイッチング機能によって、KVM、USB ハブ、オーディオを個別に切り替えることが可能になりました。KVM スイッチで、あるコンピュータを選択しているとき、スイッチに接続されている別のコンピュータでは KVM スイッチの USB ハブを使用し、さらに別のコンピュータでは KVM スイッチのオーディオを使うこともできます。例えば、あるコンピュータで表計算ソフトのシートに記入作業をしているときに、同時に別のコンピュータ上でプリンタタスクを実行することもできますので、コンピュータ毎に USB ハブを購入したり、プリンタサーバ、モデムスプリッターなどの USB 共有デバイスを購入したりする必要がなくなります。

オーディオ機能の需要に応えるべく、CS1732B/CS1734B では 2.1ch サラウンドサウンドオーディオ機能を実現しました。接続されたそれぞれのコンピュータへの、マイク入力/スピーカー出力が可能ですので、1 組のスピーカーを CS1732B/CS1734B に接続するだけで、本製品に接続されたどのコンピュータのオーディオ機能もお使いいただくことができます。

CS1732B/CS1734B のセットアップは各ケーブルを適切なポートに接続するだけです。非常に簡単で時間もかかりません。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。CS1732B/CS1734B はキーボードエミュレーション機能により、Mac や Sun システム*の特殊キー入力を行うことができるため、マルチプラットフォーム環境にも最適な製品です。

コンピュータポートの切替は フロントパネルにあるポート選択ボタンによる切替、OSD (オンスクリーンディスプレイ)、キーボードからのホットキー入力による切替といった便利な方法をご用意しております。

接続されたすべてのコンピュータに 1 組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

- 1) それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
- 2) 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
- 3) 省電力
- 4) コンピュータを操作するたびに移動しなければならないという煩雑さの解消

* Mac および Sun のコンピュータを接続する場合は、USB KVM ケーブル接続を使用してください。
(詳細は p.18 参照)

特長

- ◆ USB2.0 対応 2.1ch サラウンドオーディオ機能搭載 2/4 ポート KVM スイッチ
- ◆ 1組のコンソールから2台(CS1732B)/4台(CS1734B)のコンピュータおよび2ポートのUSBデバイス进行操作可能
- ◆ 2ポート USB2.0 ハブ搭載
- ◆ USB 2.0 仕様準拠
- ◆ デュアルインターフェース—コンピュータのキーボードおよびマウスはPS/2とUSBの両方に対応
- ◆ オーディオ対応—ベースレスポンスに優れた 2.1ch サラウンドオーディオ出力
- ◆ IP 電話デバイス等の利用に最適なコンソールオーディオポート—フロントパネルにもスピーカー・マイクポートが搭載されているため、接続・取り外し操作も簡単
- ◆ 製品同梱の PS/2—USB コンソールコンバータケーブルとの併用により、キーボードおよびマウスは PS/2 と USB 両方に対応—USB キーボード/マウス、PS/2 キーボード/マウスの混在使用が可能*
- ◆ KVM、USB ハブ、オーディオの独立切替可能
- ◆ VGA 解像度—最大 2,048×1,536、DDC2B 準拠
- ◆ ワイド画面の解像度に対応
- ◆ フロントパネルのプッシュボタン、OSD(オンスクリーンディスプレイ)、ホットキーによるコンピュータの切替に対応
- ◆ マルチプラットフォーム対応—Windows 2000/XP/Vista、Linux、Mac、Sun
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション、多機能マウス対応
- ◆ ディスプレイエミュレーション機能—KVM スイッチはディスプレイのメーカーおよびディスプレイ情報を記憶
- ◆ キーボードエミュレーション対応—キーボード未接続でコンピュータを起動した際のブートエラーを回避
- ◆ Sun/Mac キーボードエミュレーション対応*
- ◆ すべてのコンピュータをモニタリング可能なオートスキャンモード
- ◆ ステータスが一目でわかる LED ディスプレイ
- ◆ ソフトウェア不要の簡単セットアップ

* 1. Windows 配列のキーボードで Sun/Mac の特殊キー入力が可能です。
2. Sun/Mac キーボードは Sun/Mac でのみ動作可能です。

必要システム構成

コンソール

- ◆ 接続するコンピュータの解像度に適した VGA、SVGA またはマルチシンク対応モニター
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード

注意: PS/2 キーボード・マウスは、同梱されているコンバータを接続することで使用できません。

コンピュータ

接続するコンピュータは以下の装置を搭載している必要があります。



- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- ◆ USB タイプ A ポートまたはミニ DIN 6 ピン (PS/2)のキーボード・マウスポート

ケーブル

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下のケーブルをご使用になることを推奨いたします。

CS1732Bには、1.2mのケーブルが2本同梱されています。CS1734Bには、4本のケーブル(1.2mが2本、1.8mが2本)が同梱されています。このケーブルは、コンソールからのキーボードおよびマウス入力信号を USB でコンピュータへ伝送します。

CS1732B/CS1734B は、キーボード・マウスに PS/2 コネクタを持つコンピュータにも対応しています。PS/2 コネクタ付属のケーブルは、販売店でご購入いただけます。また、ケーブル長も選択できますので、詳細は下記リストをご参考になしてください。

製品画像	機能	型番(ケーブル長)
	USB KVM ケーブル	
	スイッチ側 SPHD-15 ×1 ミニオーディオプラグ ×2	2L-5301U (1.2m) 2L-5302U (1.8m)
	コンピュータ側 USB タイプ A オス ×1 ミニオーディオプラグ ×2 D-sub15 ピン オス×1	2L-5303U (3m) 2L-5305U (5m)
		PS/2 KVM ケーブル
スイッチ側 SPHD-15 ×1 ミニオーディオプラグ×2		2L-5301P (1.2m) 2L-5302P (1.8m)
コンピュータ側 ミニ DIN6 ピン オス×2 (PS/2 マウス・キーボード用) ミニオーディオプラグ ×2 D-sub15 ピン オス×1		2L-5303P (3m) 2L-5305P (5m)

注意: CS1732B/CS1734B の USB ハブに接続されたデバイスは、コンピュータ側へ USB ケーブルを通して接続されています。よって、ハブ機能は USB KVM ケーブルを使用したときのみ有効になります。PS/2 ケーブルを使用したときは機能しません。

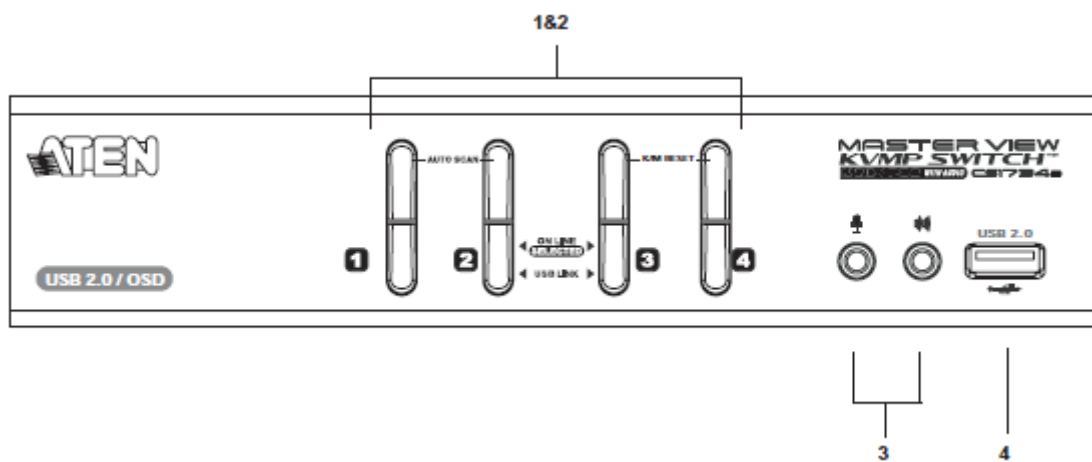
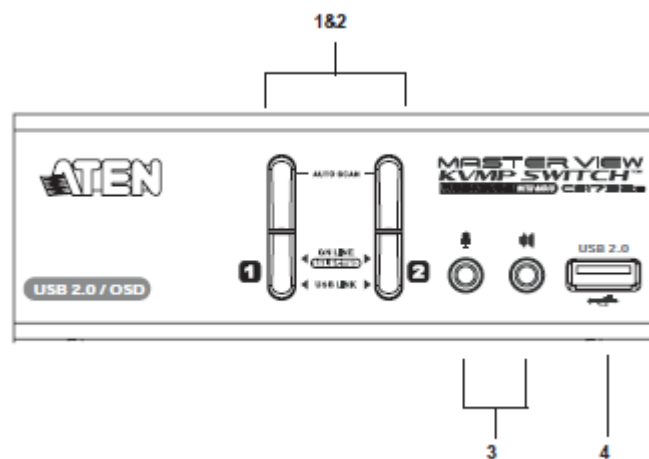
OS

本製品は下記の OS 環境での使用に対応しております。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux (カーネル 2.6 以降)	RedHat	7.1 以降、Fedora Core 2 以降
	SuSE	9.0 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	Free BSD	4.2 以降
	Sun	Solaris 9 以降
Novell	Netware	5.0 以降
Mac		OS 9.0 以降
DOS		6.22 以降

製品各部名称

フロントパネル

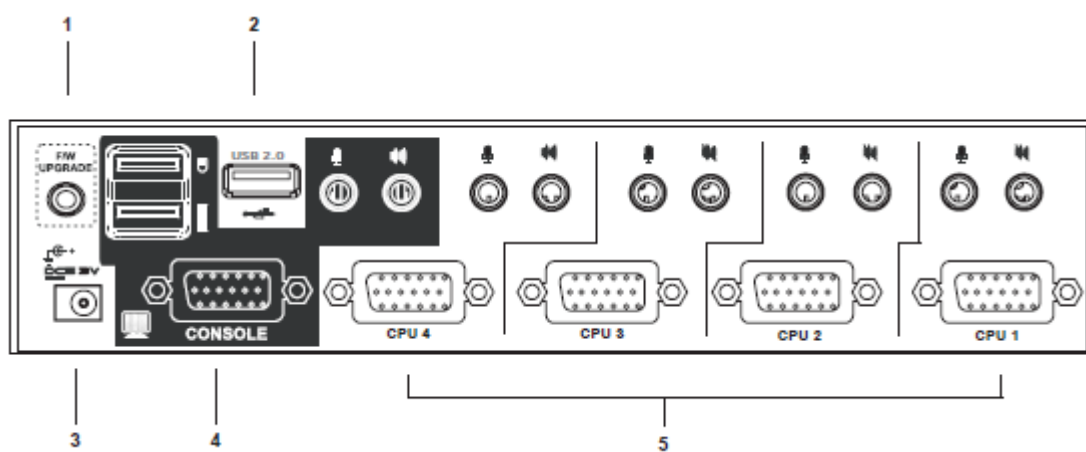
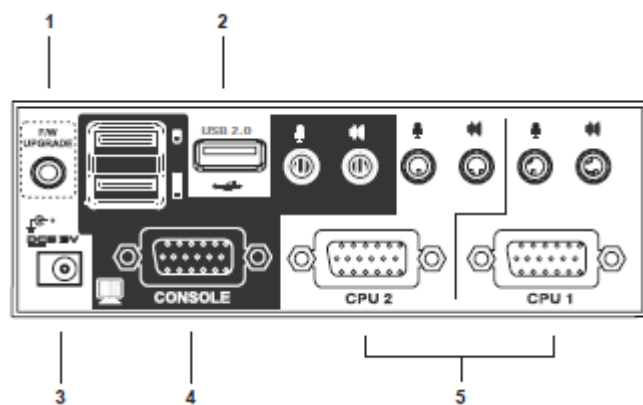


No.	名称	説明				
1	ポート選択ボタン	<p>フロントパネルのポート選択ボタンを押すと、対応するポートに接続されたコンピュータに切り替わります。</p> <p>フロントパネルのポート選択ボタンには、MODE1(デフォルト設定)とMODE2(代替設定)の2種類の設定があります。</p> <p>また、OSDの「F6 : SET(セットアップ)」機能にて、これらの設定を選択することができます。「F6 : SET(セットアップ)」については、p.41をご参照ください。</p> <p>ポート選択ボタンのMODE1、MODE2の詳細は、p.43の「BUTTON SETTINGS」の項目をご参照ください。</p>				
2	ポートLED	<p>ポートLEDはポート選択ボタンに内蔵されています。上部のLEDがKVMポートLED、下部のLEDがUSB LEDです。</p> <table border="1" data-bbox="627 898 1359 1852"> <tbody> <tr> <td data-bbox="627 898 778 1328">KVM</td> <td data-bbox="778 898 1359 1328"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ LEDが暗いオレンジ色に点灯しているときは、ポートに接続されたコンピュータの電源が入っていることを示します。 ◆ LEDが明るいオレンジ色に点灯している時は、対応ポートがKVMコントロールで選択されていることを示します。 ◆ LEDが点滅している時は、対応するポートがオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1328 778 1852">USB</td> <td data-bbox="778 1328 1359 1852"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ LEDが暗いグリーンに点灯しているときは、USBケーブルがコンピュータに接続されていることを示します。LEDが点灯していないときは、USBケーブルが接続されていないことを示します。(コンピュータへの接続にPS/2 KVMケーブルを使用している場合はUSB LEDは点灯しません) ◆ LEDが明るいグリーンに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしていることを示します。 </td> </tr> </tbody> </table>	KVM	<ul style="list-style-type: none"> ◆ LEDが暗いオレンジ色に点灯しているときは、ポートに接続されたコンピュータの電源が入っていることを示します。 ◆ LEDが明るいオレンジ色に点灯している時は、対応ポートがKVMコントロールで選択されていることを示します。 ◆ LEDが点滅している時は、対応するポートがオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。 	USB	<ul style="list-style-type: none"> ◆ LEDが暗いグリーンに点灯しているときは、USBケーブルがコンピュータに接続されていることを示します。LEDが点灯していないときは、USBケーブルが接続されていないことを示します。(コンピュータへの接続にPS/2 KVMケーブルを使用している場合はUSB LEDは点灯しません) ◆ LEDが明るいグリーンに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしていることを示します。
KVM	<ul style="list-style-type: none"> ◆ LEDが暗いオレンジ色に点灯しているときは、ポートに接続されたコンピュータの電源が入っていることを示します。 ◆ LEDが明るいオレンジ色に点灯している時は、対応ポートがKVMコントロールで選択されていることを示します。 ◆ LEDが点滅している時は、対応するポートがオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。 					
USB	<ul style="list-style-type: none"> ◆ LEDが暗いグリーンに点灯しているときは、USBケーブルがコンピュータに接続されていることを示します。LEDが点灯していないときは、USBケーブルが接続されていないことを示します。(コンピュータへの接続にPS/2 KVMケーブルを使用している場合はUSB LEDは点灯しません) ◆ LEDが明るいグリーンに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしていることを示します。 					

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
3	コンソールポート (オーディオ)	コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。こちらのオーディオポートは、リアパネルのものよりも優先されます。
4	USB2.0 ハブポート	お使いになる USB 機器(プリンター・スキャナ等)を接続します。

リアパネル



No.	名称	説明
1	ファームウェア アップグレードポート	ファームウェアアップグレードケーブルを接続して CS1732B/1734B にファームウェアアップグレードデータを伝 送します。 ファームウェアアップグレードの詳細については、p.50 の「フ ァームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。
2	USB2.0 ハブポート	USB2.0 ハブ(プリンタ、スキャナ等)を接続します。
3	電源ジャック	電源アダプタのケーブル側を接続します。
4	コンソールポート セクション	キーボード・マウス・モニタ・マイク・スピーカーの各ケーブル を接続します。ポートにはわかりやすくするため、接続するデ バイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されていま す。
5	コンピュータポート	対応する KVM ケーブルを使用してスイッチとコンピュータを 接続します。各ポートは、マイク・スピーカー・KVM のコネクタ から構成されています。

注意: 弊社の黄色の 15 ピンコネクタは特別に設計されたものです。(詳細は p.18 をご参照く
ださい) 誤って D-sub15 ピン VGA ケーブルを接続しないようにしてください。

第2章 ハードウェアセットアップ

ケーブルの接続



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.10 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。

CS1732B/CS1734B のセットアップは、次のページの図を参考にしながら下記の手順に従って作業を行ってください。

1. USB キーボードと USB マウスを本体リアパネルの USB ポートに接続してください。
2. モニタを、本体リアパネルのコンソールモニタポートに接続してください。

注意: 製品に同梱されている、OSD とホットキーの起動方法を記したステッカー (2 枚) は、キーボードやコンソールのモニタに貼って使用するものです。詳細は、p.31 の「OSD/ホットキー ステッカー」の項目をご参照ください。

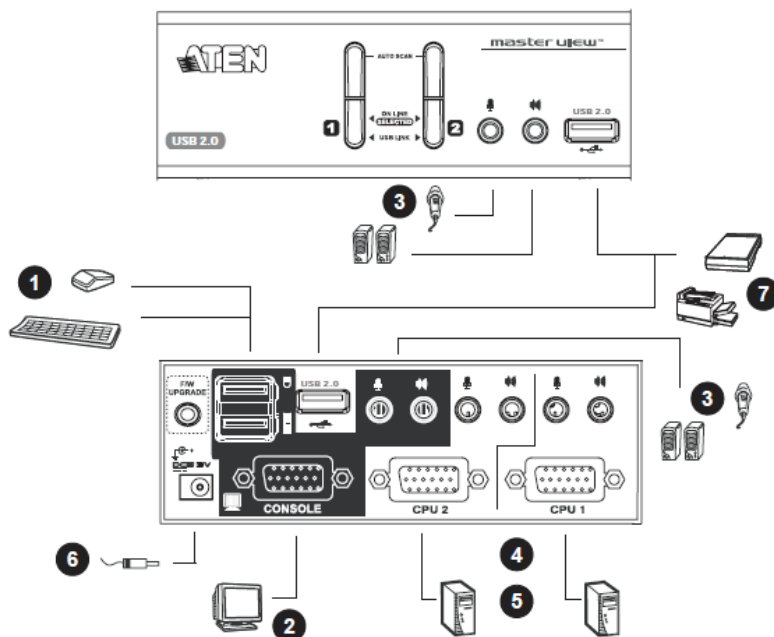
3. メインで使用するマイクとスピーカーは、本体フロントパネルのコンソールマイクおよび 2.1ch サラウンドサウンドスピーカージャックに接続してください。フロントパネルに接続したマイクとスピーカーは、リアパネルに接続したものよりも優先されます。
4. 同梱されている KVM ケーブルを使用して、本体の任意の KVM ポートに SPHD コネクタを接続してください。SPHD コネクタの隣に付属しているマイク・スピーカーのコネクタは、SPHD コネクタを接続した先と同じ KVM ポートのマイク・スピーカージャックに接続してください。

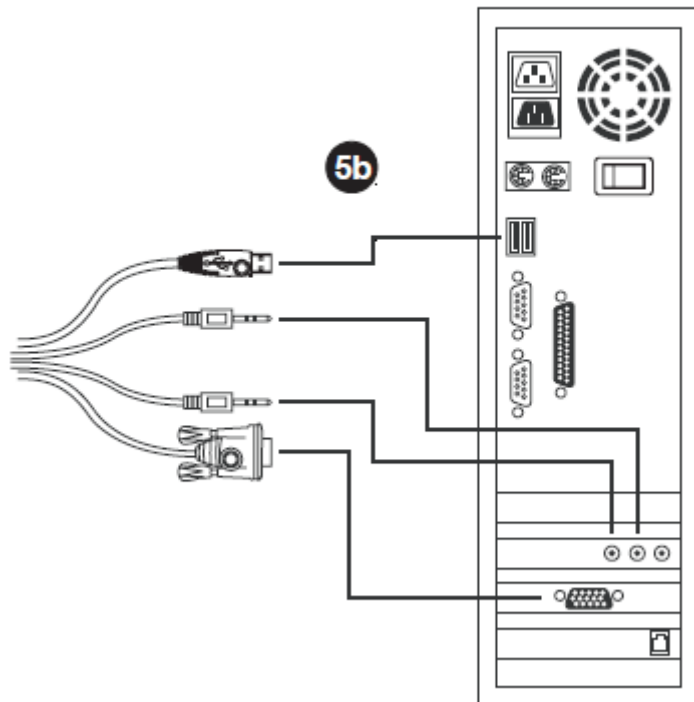
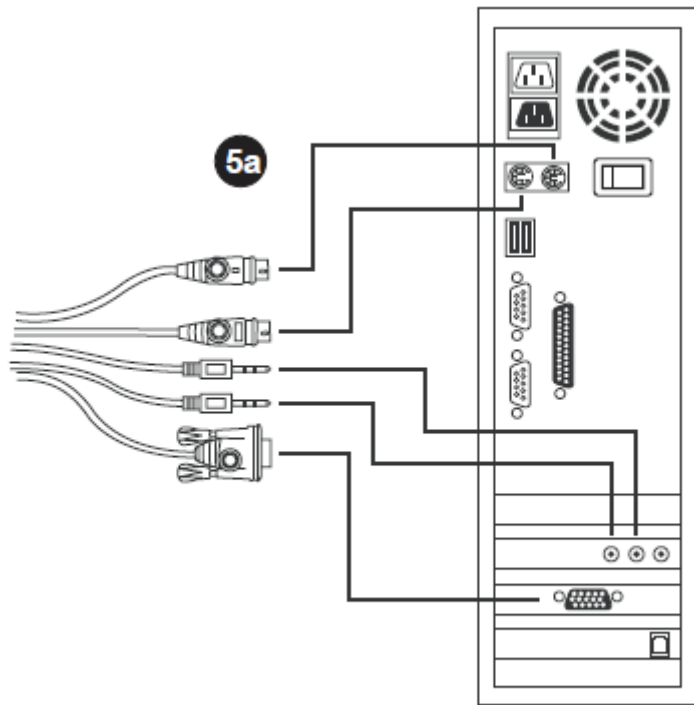
-
- 注意:**
1. 各コネクタおよびジャックには、わかりやすくするために、デバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
 2. ケーブルのすべてのプラグは、同じ KVM ポートに接続してください。
(KVM、マイク、スピーカーのケーブルは、すべて同一ポートに接続します)
-

5. ケーブルの反対側を、下記の通りに接続してください。
 - a) PS/2 KVM ケーブルを使用して接続する場合、キーボード、マウス、モニター、マイク、スピーカーのケーブルをコンピュータの適切なポートに接続してください。(p.28 参照)
 - b) USB KVM ケーブルを使用して接続する場合、USB、モニター、マイク、スピーカーのケーブルをコンピュータの適切なポートに接続してください。(p.28 参照)

KVM スイッチに接続するコンピュータが他にもある場合は、手順 4~5 の操作を繰り返してください。

6. 電源アダプタを AC 電源に接続し、アダプタのケーブル側を本体の電源ジャックに接続してください。
7. USB 周辺機器は、本体フロントおよびリアパネルの USB ハブセクションに接続してください。
8. コンピュータの電源をオンにしてください。





ポート番号の割り当て

CS1732B/CS1734B の各ポートにはポート番号が割り当てられています。ポート番号はリアパネルのコンピュータポートに明記されています。(p.24 の CS1732B/CS1734B リアパネル参照)

CS1732B—ポート 1 およびポート 2

CS1734B—ポート 1 からポート 4

コンピュータのポート ID は、そのコンピュータを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート 2 に接続されたコンピュータのポート ID は 2 になります。

ポート ID は KVM、USB、オーディオのコントロールをホットキーによって切り替えるときに使用します。(詳細は p.31 の「アクティブポートの選択」をご参照ください。)

ホットプラグ

CS1732B/CS1734B は、USB ホットプラグに対応しています。KVM スイッチに接続されたコンピュータは、シャットダウンすることなく USB ポートにケーブルを付け替えることによって、スイッチへの接続・取り外しが可能です。

終了と再起動

CS1732B/CS1734B の電源をオフにする場合、以下の手順で操作を行ってください。

1. スイッチ本体の電源をオフにします。
 - ◆ 本体リアパネルから KVM ケーブルを取り外します。
 - ◆ 本体から電源アダプタを取り外します。
2. 10 秒経過してから、KVM ケーブルを再度接続します。
3. KVM スイッチに電源アダプタを再度接続します。

第3章

キーボードによるポート操作

この章では、CS1732B/CS1734B のホットキー操作の概要と手順について説明いたします。OSDメニューにおけるホットキー操作は、次章の「OSD 操作」をご参照ください。

ホットキーによるポート切替

ホットキーでのポート操作によって、キーボードから特定のコンピュータに切り替えることができます。CS1732B/CS1734B のホットキーでのポート操作には以下の特徴があります。

- ◆ ポート選択
- ◆ オートスキャン機能
- ◆ スキップモード切替

ホットキーモードの起動

すべてのホットキー操作は、ホットキーモードの起動から始めます。ホットキーモードの起動は、下記の手順で行ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押して、すぐに離します。
3. [Num Lock]キーを離します

ホットキーモードが有効の場合、CS1732B/CS1734B には以下の動作が見られます。

- ◆ ホットキーモードの起動に成功すると、Caps Lock と Scroll Lock の LED が点滅します。ホットキーモードを終了した場合、LED の点滅が止まり、通常の状態に戻ります。
- ◆ 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になります。ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。(以下のセクションをご参照ください。)

ホットキーモードを終了するには、[Esc]またはスペースキーを押してください。

アクティブポートの選択

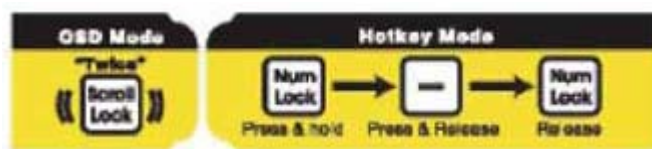
KVM の各ポートには、ポート ID が割り当てられています。(ポート ID については、p.29 をご参照ください。) コンピュータが接続されている KVM ポートのポート ID を入力すると、指定のポートに切り替わります。下記の手順で操作を行ってください。

1. ホットキーモードを起動します。(p.30 参照)
2. ポート ID を入力します。
3. [Enter]キーを押します。

[Enter]キーを押した後、指定したコンピュータに切り替わります。その後は、ホットキーモードは自動的に終了します。

OSD/ホットキー ステッカー

CS1732B/1734B には、ホットキーモードを有効にする 2 種類の方法(キーボードによるポート操作と OSD 表示)を示すステッカーが同梱されています。使用されるキーボード、コンソールモニタ等に貼ってお使いいただくと便利です。



ポートのダイレクト切替

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-] [Enter]	<p>KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを現在のポートから次のポートに切り替えます。</p> <p>CS1732B:ポート 1→ポート 2 またはポート 2→ポート 1</p> <p>CS1734B:ポート 1→ポート 2→ポート 3→ポート 4→ポート 1</p> <p>注意:KVM、USB ハブ、オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによって、すべてを同時に切り替えます。</p>
[Num Lock]+[-] [K] [Enter]	<p>KVM コントロールのみを次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p>
[Num Lock]+[-] [U] [Enter]	<p>USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p>
[Num Lock]+[-] [S] [Enter]	<p>オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。</p>
[Num Lock]+[-] [n] [Enter]	<p>KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。</p> <p>注意:KVM、USB ハブ、オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによって、すべてを同時に切り替えます。</p>
[Num Lock]+[-] [n] [K] [Enter]	<p>KVM コントロールのみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p>

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[-] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Num Lock]+[-] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Num Lock]+[-] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Num Lock]+[-] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Num Lock]+[-] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。
[Num Lock]+[-] [n] [K] [S] [U] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。 注意:[Num Lock]+[-] [n] [Enter]の入力と同じ動作をします。

注意: 表中の n は、コンピュータのポート ID (1~4) を表しております。ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の n の部分に切替対象となるポート ID を適宜入力してください。

オートスキャン

CS1732B/CS1734B のオートスキャン機能は、一定間隔で自動的に KVM コントロールを切り替えます。この機能によって、スイッチや OSD 等を毎回手動で操作することなく、KVM スイッチに接続されたすべてのコンピュータの状態をモニタリングすることができます。ホットキー操作については下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが 5 秒間隔 で切り替わります。
[Num Lock]+[-] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが 指定した間隔(1~99 秒) で切り替わります。

- 注意:**
1. n は秒数を表します。次のポートに切り替えるまでの n 秒間、そのポートを表示します。n は 1~255 の範囲の値の指定が可能です。
 2. 0 の場合、オートスキャンは無効になります。

スキャンインターバルの設定

オートスキャンのスキャンインターバルの設定は、OSD 機能の「**F6 : SET (セットアップ)**」機能でも設定が可能です。(p.41 の「**F6 : SET (セットアップ)**」をご参照ください)

オートスキャンの起動

オートスキャンを開始するには、以下のホットキー入力を行います。

1. ホットキーモードを有効にします。(p.30 参照)
2. **[A]**を入力します。**[A]**を入力した後は自動的にホットキーモードを終了し、オートスキャンモードに入ります。
 - ◆ オートスキャンモードの時は、通常のキーボードおよびマウス入力は無効となり、オートスキャン専用で予約されたキー入力だけが有効となります。通常の操作に戻る場合は、オートスキャンモードを終了する必要があります。
3. オートスキャンモードを終了するには、**[Esc]**または**スペースキー**を押してください。オートスキャンモードを終了するとオートスキャンが終了します。

スキップモード

スキップモードでは、コンピュータをモニタリングする時に手動でポートを切り替えます。一定間隔で自動的にポートを切り替えるオートスキャンとは違い、時間の制限を受けることなく特定のポートをモニタリングすることができます。スキップモードを有効にするには、以下のホットキー操作を行います。

1. ホットキーモードを有効にします。(p.30 参照)

2. **カーソルキー**を入力します。

- ◆ カーソルキーは、下記一覧表のいずれかのカーソルキーを意味します。カーソルキーを押すと、自動的にホットキーモードが無効になりスキップモードに入ります。

←	現在のポートからアクセス可能な1つ前のポートに切り替えます
→	現在のポートからアクセス可能な次のポートに切り替えます
↑	現在のポートから1つ前のステーションのアクセス可能な最後のポートに切り替えます。
↓	現在のポートから1つ後ろのステーションのアクセス可能な最初のポートに切り替えます。

- ◆ スキップモードに入るとカーソルキーを押す度にポートが切り替わります。ホットキーモードを起動するキーをその都度入力する必要はありません。
- ◆ スキップモードでは、通常のキーボード・マウス入力は無効となり、スキップモードで予約されているキー入力だけが有効になります。通常の機能に戻るには、スキップモードを終了する必要があります。

3. スキップモードを終了するには、**[Esc]**または**スペースキー**を押してください。

ホットキー一覧表

[Num Lock]+[-]	[Enter]	現在選択されているKVMポートから、KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートへ切り替えます。
	[Port ID] [Enter]	指定したポート番号のコンピュータへ切り替えます。
	[K]または[U]または[S] [Enter]	現在選択されているポートから KVM、USB ハブ、オーディオのうち選択したフォーカスを次のポートへ切り替えます。
	[Port ID] [K]または[U] または[S]	現在選択されているポートから KVM、USB ハブ、オーディオのうち選択したフォーカスを指定したポート番号のコンピュータへ切り替えます。
	[A] [n]	オートスキャンの間隔を n (1~255)秒に設定します。 注意: n が 0 の場合、オートスキャンは無効になります。
	[A]	オートスキャンモードを有効にします。
	[←]	スキップモードが有効になり、現在のポートからアクセス可能な1つ前のポートにスキップします。
	[→]	スキップモードが有効になり、現在のポートからアクセス可能な次のポートにスキップします。
	[↑]	スキップモードが有効になり、現在のポートから1つ前のステーションのアクセス可能な最後のポートにスキップします。
	[↓]	スキップモードが有効になり、現在のポートから1つ後ろのステーションのアクセス可能な最初のポートにスキップします。
	[D]	ポートに接続されたモニタのメーカーとモニタ情報を読み込み、保存します。
	[F4]	テキストエディターのペースト機能で現在の OSD 設定をリストアップすることができます。 a) ホットキー b) OSD ホットキー c) ポート OS d) マウスエミュレーション e) ボタン設定
	[F5]	USB キーボードとマウスのリセットを行います。

第4章 OSD 操作

本章では CS1732B/CS1734B の OSD (オンスクリーンディスプレイ) 操作に関する手順について詳しく説明します。

OSD 概要

オンスクリーンディスプレイ(OSD)は、メニュー形式で CS1732B/CS1734B 本体の諸設定および接続されたコンピュータの管理を行います。これらの操作はすべて OSD メインメニューから実行します。OSD メインメニューを呼び出すには、[Scroll Lock]キーを2度押してください。

注意: OSD 表示のホットキーはデフォルトの[Scroll Lock]キーから[Ctrl]キーに変更できます。(p.42 の「OSD HOTKEY」参照) [Ctrl]キーの2度押しの際は、キーボードの同じサイドに位置する[Ctrl]キーを押してください(左側を2回、もしくは右側を2回)。

OSD メイン画面

OSD を起動すると、以下のような画面が表示されます。







注意: OSD は常にリストビューの状態が始まります。ハイライトバーは OSD 画面が最後に閉じられた時に表示されていた位置と同じ位置で表示されます。

OSD ナビゲーション

- ◆ ポートを選択するには、**F1、F2、F3、F7** ファンクションキーを使用するか、上下のカーソルキーを操作することでハイライトバーを移動させます。ハイライトバーを切り替えたいポートに移動させたら、**[Enter]**キーを押すかマウスの左ボタンをダブルクリックします。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示は OSD 画面から選択したポートに切り替わります。
- ◆ KVM、USB ハブ、オーディオ、PN の列をクリックしてもポートの選択が可能です。マウスを使用することで、1 列または複数列の選択が可能です。ダブルクリックまたは**[Enter]**キーを押すとハイライトバーが表示されます。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示は OSD 画面から選択したポートに切り替わります。
- ◆ KVM、USB、オーディオ、PN の列は **Tab** キーでも選択することができます。上下のカーソルキーでポート番号を選択し、**[Enter]**キーを押します。ハイライトバーのダブルクリックでも可能です。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示は OSD 画面から選択したポートに切り替わります。
- ◆ 「ネームリスト」の列では、**Tab** キーまたは上下のカーソルキーを使用してポートを選択します。ポートを選択し、ダブルクリックまたは**[Enter]**キーを押すと名前を編集することができます。
- ◆ 上記の方法以外でも、**[F7]**キーを押すか、マウスで「ネームリスト」の列のポート番号を選択することによって、KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に選択したポートに切り替えることができます。
- ◆ メイン画面/ポート表示画面を出るには、**[Esc]**またはマウスの右ボタンをクリックします。OSD の表示画面が消え、もとのコンピュータの画面が表示されます。この場合、設定は保存されません。
- ◆ メイン画面/ポート表示画面を出る時に設定を保存したい場合は、**[Enter]**を押すか、中央の黄色い部分またはハイライトバーにカーソルを移動させマウスの左ボタンをダブルクリックします。

OSD メイン画面

PN	この列は、セットアップされたすべてのKVMポートのポートIDを表示します。選択したいポート番号にハイライトバーを移動させ、[Enter]を押すと簡単にポートが切り替わります。
KVM	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのコンピュータがKVM スイッチによって選択されていることを表します。
USB	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのコンピュータがUSB ハブにアクセスしていることを表します。
	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのコンピュータがオーディオを選択していることを表します。
	このマークが表示されている場合、そのコンピュータの電源が入っていて、オンラインであることを表します。
NAME (ネームリスト)	<p>ポートに名前をつけると、この列に表示がされます。名前を編集するには、指定したポートの「ネームリスト」の欄をダブルクリックします。この部分をダブルクリックするとピンク色の四角い形をしたカーソルが表示され、ポート名前を編集できるようになります。</p> <p>以下の文字を使用することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ アルファベット全て: a~z ; A~Z ◆ 数字全て : 0~9 ◆ 記号 : +- / : . およびスペース
 : UP	ここをクリックすると、ハイライトバーが上に移動します。
 : DOWN	ここをクリックすると、ハイライトバーが下に移動します。

OSD 機能

OSD 機能は、OSD の諸設定とコンピュータの管理に使用します。ポートの速やかな切り替え、選択したポートのスキャン、ポート名の編集・削除、OSD の設定変更などを行います。

OSD 機能の操作には以下の手順を行います。

1. メイン画面の上部にあるファンクションキーをクリックするか、キーボードのファンクションキーを押します。
2. 表示されたサブメニューから、操作するメニューを選択してダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させて[Enter]を押します。
3. 前のメニューに戻るには、[Esc]を押します。

F1:KVM

選択されている KVM のモニタ画面を見るには、[F1]ファンクションキーを押すか画面上でカーソルを「F1:KVM」に移動してクリックをします。(p.38 の「OSD ナビゲーション」に記載されている手順に従ってください。)

F2:USB

USB が選択されているコンピュータのモニタ画面を見るには、[F2]キーを押すか画面上でカーソルを「F2:USB」に移動してクリックをします。(p.38 の「OSD ナビゲーション」に記載されている手順に従ってください。)

F3:AUDIO(オーディオ)

選択されているオーディオのモニタ画面を見るには、[F3]キーを押すか画面上でカーソルを「F3:AUDIO(オーディオ)」に移動してクリックをします。(p.38 の「OSD ナビゲーション」に記載されている手順に従ってください。)

F4:SCAN(スキャン)

OSD 画面上の「F4」をクリックするか[F4]キーを押すとオートスキャンモードが有効になります。この機能により一定間隔でアクセス可能なコンピュータに自動的に切り替わります。ご自身で切替操作を行わずに簡単にコンピュータをモニタリングすることができます。

- ◆ オートスキャン等のコンピュータの選択には、ホットキーでスキャン/スキップモードの設定が可能です。(キーボードによるポート操作の詳細は、p.30 をご参照ください)
- ◆ 各ポートの画面表示時間は、「F6:SET(セットアップ)」の「PORT DISPLAY DURATION(ポート表示時間)」の項目で設定することができます。「F6:SET(セットアップ)」については、以下のセクションをご参照ください)
- ◆ コンピュータが接続されていないポートや接続されていても電源がオフになっているポートでオートスキャンが実行されると、モニタの画面はブランクになりマウスおよびキーボード操作は無効になります。「SCAN DURATION(スキャン間隔)」で設定された時間が経過すると、次のポートをスキャンします。
- ◆ オートスキャンが有効になっている場合、コンソールは通常の操作ができません。通常のコンソール機能に戻るためには、オートスキャンモードを終了する必要があります。
- ◆ オートスキャンモードを終了するには、スペースキーまたは[Esc]を押します。

F6:SET(セットアップ)

この機能では、使用環境を設定します。[F6]キーを押すか OSD 画面で[F6]をクリックすると、以下のような画面が表示されます。



設定の変更をするには、下記の手順で操作してください。

1. 設定の変更をする項目をダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させ[Enter]を押します。
2. 項目を選択すると、その項目のサブメニューが表示されます。(前のメニューに戻るには、[Esc]を押します。) メニューを選択する場合は、その項目をダブルクリックするか、その項目までハイライトバーを移動させて[Enter]を押します。選択された項目の前にはアイコンが表示されます。設定項目は、下記リストをご参照ください。

設定	機能
OSD HOTKEY (OSD ホットキー)	OSD メインメニューを呼び出すホットキーを設定します。 [Scroll Lock][Scroll Lock]または[Ctrl][Ctrl]です。 [Ctrl]キーの組み合わせは、コンピュータで使用しているプログラムに対して不都合が生じる場合があるので、デフォルト設定は[Scroll Lock]キーの組み合わせです。
HOTKEY (ホットキー設定)	ホットキー機能を有効にするホットキーを選択します。 (ホットキー操作については、第3章の「キーボードによるポート操作」をご参照ください。) [Num Lock]+[-]または[Ctrl]+[F12]です。 デフォルト設定は[Num Lock]+[-]です。

(表は次のページに続きます)

設定	機能
BUTTON SETTINGS (ボタン設定)	<p>フロントパネルのポート選択ボタンの設定を以下の 2 つのモードから選択することができます。</p> <p>MODE1(モード 1:デフォルト設定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポート選択ボタンを 1 回押すと(2 秒以内)、KVM だけが指定したポートに切り替わります。 2. ポート選択ボタンを 2 回押すと(2 秒以内)、オーディオだけが指定したポートに切り替わります。 3. ポート選択ボタンを 2 秒以上押すと、KVM、オーディオ、USB ハブのすべてが同時に指定したポートに切り替わります。 4. ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒間押すと、オートスキャンモードに入ります。 5. ポート選択ボタン 3 と 4 を同時に 2 秒間押すと、キーボードおよびマウスがリセットされます。(CS1734B のみ) <p>MODE2(モード 2:代替設定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポート選択ボタンを 1 回押すと(2 秒以内)、KVM、オーディオ、USB ハブのすべてが同時に指定したポートに切り替わります。 2. ポート選択ボタンを 2 回押すと(2 秒以内)、オーディオが指定したポートに切り替わります。 3. ポート選択ボタンを 2 秒以上押すと、KVM だけが指定したポートに切り替わります。 4. ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押すと、オートスキャンモードに入ります。 5. ポート選択ボタン 3 と 4 を同時に 2 秒以上押すと、キーボードおよびマウスのリセットを行います(CS1734B のみ)
PORT DISPLAY DURATION (ポート表示時間)	<p>ポート切替が行われた後、モニタ画面にポート ID を表示する時間を設定します。</p> <p>ユーザーにより指定(0 秒~255 秒)が可能です。デフォルト設定は 3 秒です。たとえば、この項目を 5 秒に設定して[Enter]を押し、前のメニューに戻ると、ポート表示時間は 5 秒に設定されます。</p>

(表は次のページに続きます)

設定	機能
SCAN DURATION (スキャン間隔)	<p>選択されたコンピュータのスキャンを行うオートスキャンモードでの各ポートの表示時間を設定します。0～255 秒の指定が可能です。デフォルト設定は 5 秒です。[Enter]を押すと設定が保存されます。</p> <p>注意:0 はオートスキャン機能では無効です。</p>
SCREEN BLANKER (スクリーンブランカー)	<p>デフォルトでは、「SET TIMEOUT (タイムアウト時間設定)」が OFF、「SCREEN LOCK (スクリーンロック)」が OFF に設定されています。設定方法は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「SET TIMEOUT」を ON にします。1～30 分の入力が可能です。「SET TIMEOUT」が OFF の場合、「SCREEN BLANKER PASSWORD (スクリーンブランカーパスワード)」および「SCREEN LOCK (スクリーンロック)」の項目を設定することができません。 2. 「SCREEN BLANKER PASSWORD」を設定します。パスワードは 8 文字まで入力することができます。(A～Z、0～9 の入力が可能) デフォルトのパスワードを変更していない場合、[Enter]を押すとスクリーンロックをキャンセルすることができます。 3. スクリーンロックを ON に設定するには Y を入力します。スクリーンロックが ON に設定されている場合、スクリーンブランカーモードを終了して OSD 画面に戻るためにはパスワードが必要です。
HOTKEY COMMAND MODE (ホットキー コマンドモード)	<p>ホットキー操作がコンピュータで動作中のプログラムと不都合がある場合などに、ホットキーコマンドの機能を使用可能/不可を切り替えます。デフォルトは ON で使用可能になっています。</p>
RESTORE DEFAULT VALUES (全ての設定を デフォルトに戻す)	<p>すべての変更を元に戻し、工場出荷時のデフォルト設定にします。(OSD の工場出荷時におけるデフォルト設定は、p.58 をご参照ください)ポートに指定した名前の設定だけが保存されます。</p>

(表は次のページに続きます)

設定	機能
CLEAR THE NAME LIST (ネームリスト クリア)	ポートネーム設定を削除して、工場出荷時のデフォルト値(全ポートネーム無し)にします。
ACTIVATE BEEPER (ビープ音の設定)	ビープ音の ON/OFF の設定を行います。デフォルト設定は ON になっています。ON に設定されると、ポートが変更された時、オートスキャン機能が有効になっている時、また、OSD メニューで無効な入力がされた時にそれぞれビープ音が鳴ります。
FIRMWARE UPGRADE (ファームウェア アップグレード)	CS1732B/CS1734B のファームウェアをアップグレードするには、ファームウェアアップグレードメインメニューに記載があるようにファームウェアアップグレードケーブルを接続します。Y を入力して[Enter]キーを押すと、「A FIRMWARE UPGRADE IN PROGRESS」のメッセージが画面に表示されます。
PORT OS (ポート OS)	各ポートの OS を PC、SUN、MAC、SPC に設定します。この項目を正しく設定することによって Sun、Mac、その他の OS のキーボードの特殊キーの入力が可能になります。ポートを選択するには、上下のカーソルキーを使用するかマウスでクリックをします。スペースキーまたはマウスのダブルクリックでも各ポートの OS 設定を変更することができます。 注意: ポートに接続されたコンピュータの OS が上記の項目に当てはまらない場合は、SPC に設定してください。
MOUSE EMULATION (マウスエミュレーション)	コンソールマウスポートのエミュレーション機能を有効/無効にします。デフォルト設定は ON です。この設定を OFF にすると、マウスの信号は KVM スイッチで変換されることなく、そのままコンピュータに送られます。 注意: この機能は、USB マウスおよびコンピュータの USB ポートを使用してセットアップしたときのみご利用いただけます。
LANGUAGE (言語)	OSD は、ENGLISH(英語)、日本語、DEUTSCH(ドイツ語)の 3 種類の表示言語の選択が可能です。デフォルト設定は ENGLISH(英語)です。


F7:PN

この機能では、KVM、USB、オーディオが同時に指定したポートに切り替わります。[F7]キーを押すかOSD画面の「F7:PN」をクリックすると、KVM、USB、オーディオの列を同時に選択することができるので、上下のカーソルキーでポート番号を選択します。[Enter]キーまたはマウスでダブルクリックをすると、選択されたポートに指型のアイコンが表示されます。画面表示は OSD 画面が消え指定したポートに切り替わります。

第5章 キーボードエミュレーション

Mac キーボードエミュレーション



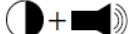




コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー([Ctrl]キー)を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

Sun キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Sun キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

注意: 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー ([Ctrl]キー) を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

第6章

ファームウェア アップグレード ユーティリティ

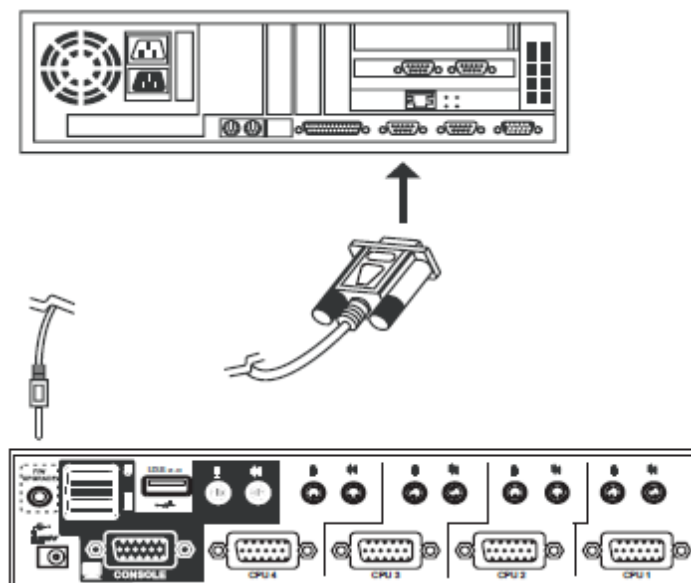
Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティは、スムーズかつ簡単な操作で KVM スイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

ファームウェアアップグレードパッケージはデバイス別に用意されています。新しいファームウェアパッケージは弊社 web サイトで公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 web サイトをご覧ください。<http://www.aten.com/download/download.php>

アップグレードの前に

ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. KVM スイッチに接続されているコンピュータとは別に、インターネット接続可能なコンピュータを用意してください。弊社 web サイトにアクセスして製品型番で検索し、ファームウェアのリストから CS1732B/CS1734B の最新版パッケージを選択してください。
2. 最新版パッケージをダウンロードし、コンピュータの任意のディレクトリに保存してください。
3. 同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、パッケージを保存したコンピュータの COM ポートとスイッチ リアパネルのファームウェアアップグレードポートを接続します。



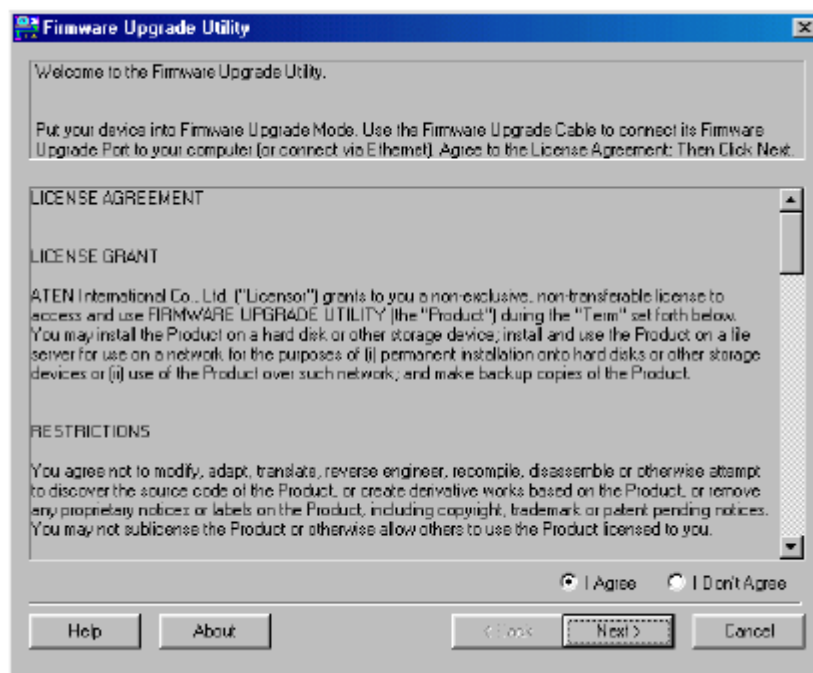
4. スイッチに接続されたコンピュータをシャットダウンします。
5. スイッチをファームウェアアップグレードモードにします(詳細は p.45)。フロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

これでアップグレードの準備が整いました。

アップグレード開始

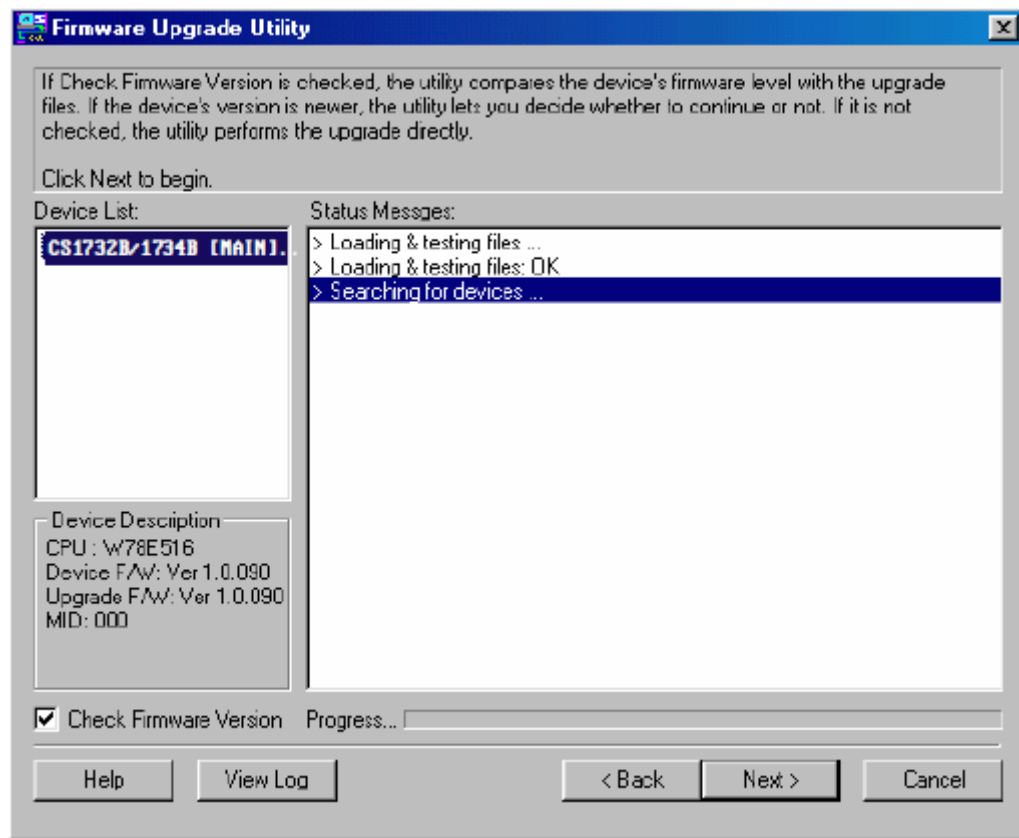
以下の手順に従ってアップグレード作業を進めてください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリックまたはコマンドラインでフルパスを入力して実行します。以下のようなライセンス認証確認画面が表示されます。



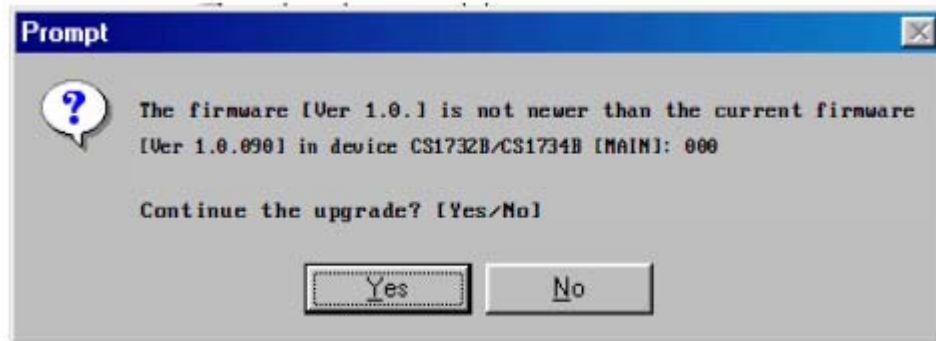
注意: 実際に表示される確認画面は、このスクリーンショットと異なる場合があります。

2. ライセンス規約に同意したら「I Agree」ラジオボタンをオンにします。
3. 「Next」ボタンを押して次に進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティ メイン画面が表示されます。



ファームウェアアップグレードユーティリティは、お使いの CS1732B/CS1734B の環境を自動検出し、そのパッケージでアップグレード可能なデバイスの一覧が「Device List」フィールドに表示されます。

4. デバイスを選択後、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行します。



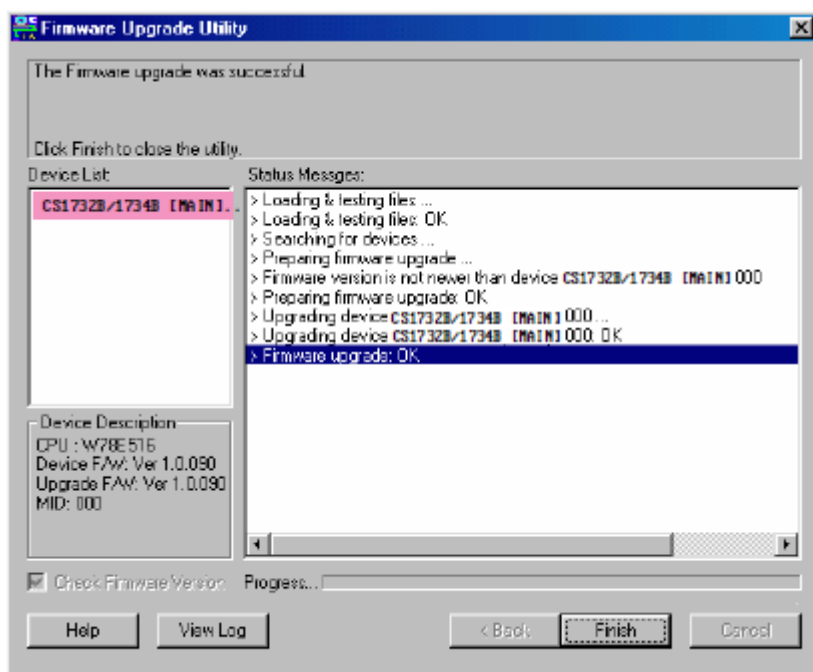
ここで「Check Firmware Version」にチェックが入っている場合、ユーティリティは現在のファームウェアバージョンとアップグレードパッケージのバージョンを比較します。もし現在使用のバージョンがアップグレードパッケージよりも高い場合は、このようなダイアログボックスが表示され、アップグレード実行継続/中止の確認を行います。

「Check Firmware Version」にチェックが入っていない場合、ユーティリティはバージョン比較をせずにアップグレードを行います。

アップグレードの進捗状況はステータスフィールドとプログレスバーで表示されます。

アップグレード成功

アップグレード完了後、アップグレード成功のメッセージが表示されます。



「Finish」ボタンを押してファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

ユーティリティ終了後、スイッチは自動的にファームウェアアップグレードモードを終了し、リセットを行います。

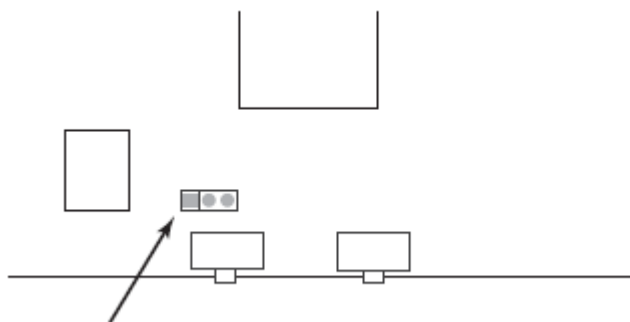
アップグレード失敗

メインボード上ジャンパのショート方法

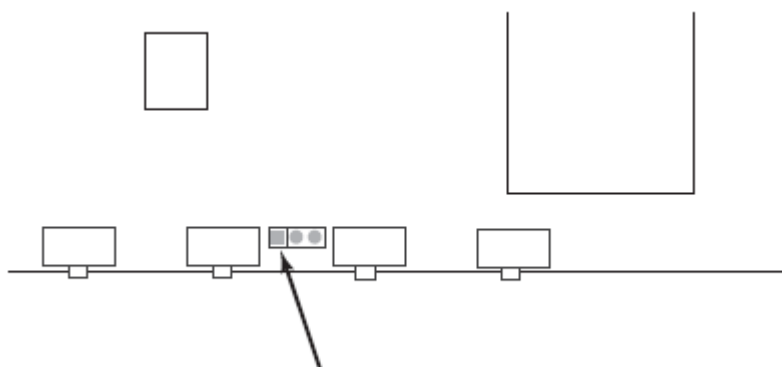
アップグレード成功画面が表示されず、ファームウェアのアップグレードに失敗した場合は、次の項に従ってファームウェアアップグレードリカバリーを実行してください。

1. CS1732B/CS1734B の電源をオフにし、本体のケースを取り外してください。
2. ジャンパーキャップを使用して、メインボード上の「J14」と記載されているジャンパをショートさせます。図は、CS1732B/CS1734B メインボードのジャンパの場所を表しています。

CS1732B



CS1734B



3. CS1732B/CS1734B の電源を入れてください。このとき、CS1732B/CS1734B は、工場出荷時のデフォルトのバージョンのファームウェアで動作します。
4. ファームウェアアップグレード作業手順をもう一度行ってください。
5. ファームウェアアップグレードに成功したら、CS1732B/CS1734B の電源をオフにして J14 からジャンパーキャップを外し、本体ケースを取り付けてください。その後、もう一度 CS1732B/CS1734B に電源を入れてください。

付録

OSD の工場出荷時における初期設定一覧

CS1732B/CS1734B の工場出荷時における初期設定の内容は以下のとおりです。

設定	初期値
OSDホットキー	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
キーボードポートホットキー	[Num Lock] + [-]
ボタン設定	モード 1
ポートID表示時間	3 秒
スキャン時間	5 秒
スクリーンブランカー機能	OFF (無効)
タイムアウト	OFF (無効)
スクリーンブランカーパスワード	[Enter]
スクリーンロック	OFF (無効)
ホットキーコマンドモード	ON
ビープ音	ON
ポートOS	PC
マウスエミュレーション	ON
言語	ENGLISH (英語)

製品仕様

機能		CS1732B	CS1734B
コンピュータ接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピュータ側対応 インターフェース	キーボード	PS/2・USB 両対応	
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		OSD、ホットキー、プッシュボタン	
コンピュータ側 コネクタ	キーボード	SPHD メス×2	SPHD メス×4
	マウス		
	モニタ		
	スピーカー	ミニオーディオジャック メス×2	ミニオーディオジャック メス×4
	マイク	ミニオーディオジャック メス×2	ミニオーディオジャック メス×4
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニタ	D-sub15 ピンメス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×2	
	マイク	ミニオーディオジャックメス×2	
スイッチ	選択ポート	プッシュボタン×2	プッシュボタン×4
ファームウェアアップグレードポート		ミニオーディオジャックメス×1	
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
LED	オンライン	オレンジ×2	オレンジ×4
	選択ポート	オレンジ×2	オレンジ×4
	USB リンク	グリーン×2	グリーン×4

(表は次のページに続きます)

機能		CS1732B	CS1734B
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2・USB	
スキャンインターバル		1~99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0605-241G 入力:AC100V~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		3.1W	3.4W
VGA 解像度		2,048×1,536 @60Hz DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		550g	780g
サイズ (W×D×H)		140×87×55mm	201×88×55mm
同梱品		2L-5301U(1.2m) ケーブル×2 電源アダプタ×1 ファームウェア アップグレード ケーブル×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1 USB→PS2 変換ケーブル×1	2L-5301U(1.2m) ケーブル×2 2L-5302U(1.8m) ケーブル×2 電源アダプタ×1 ファームウェア アップグレード ケーブル×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1 USB→PS/2 変換ケーブル×1

(表は次のページに続きます)

機能	CS1732B	CS1734B
対応ケーブル	《PS/2 KVM ケーブル》 2L-5301P(1.2m) 2L-5302P(1.8m) 2L-5303P(3m) 2L-5305P(5m) 《USB KVM ケーブル》 2L-5301U(1.2m) 2L-5302U(1.8m) 2L-5303U(3m) 2L-5305U(5m) *注意:標準でUSBケー ブル 2L-5301U(1.2m)× 2、が付属しています。	《PS/2 KVM ケーブル》 2L-5301P(1.2m) 2L-5302P(1.8m) 2L-5303P(3m) 2L-5305P(5m) 《USB KVM ケーブル》 2L-5301U(1.2m) 2L-5302U(1.8m) 2L-5303U(3m) 2L-5305U(5m) *注意:標準でUSBケー ブル 2L-5301U(1.2m)×2、 2L-5302U(1.8m)×2 が付 属しています。

トラブルシューティング

概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが KVM スイッチおよびコンピュータの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、これらの問題は、ファームウェアのアップグレードの適用によって解決することがあります。現在お使いのバージョンが最新でない場合は、最新版のファームウェアを適用することをお勧めします。詳細については p.50 の「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

症状	考えられる原因	対処
マウスやキーボードからの入力が反応しない。	誤った方法でマウスやキーボードのリセットを行った可能性があります。	コンソールポートからケーブルを一旦抜いて挿しなおしてください。
	KVM スイッチのリセットが必要です。	接続したすべてのデバイス・KVM スイッチの電源をオフにし、5 秒以上経過してから、再起動してください。

(表は次のページに続きます)

症状	考えられる原因	対処
<p>USB ハブに接続したデバイスが反応しない。</p>	<p>USBリセットが必要です。</p>	<p>リアパネルに接続した USB デバイスのコネクタを接続し直してください。</p> <hr/> <p>ホットキーで USB のリセットを行ってください。詳細は p.36 の「ホットキー一覧表」における「F5」の項目をご参照ください。</p> <hr/> <p>1. ポート OS の設定を「SPC」に変更してください。(p.45 「PORT OS」参照)</p> <p>注意:カーネル 2.6 以降の Linux の使用を推奨します。</p> <p>2. お使いの OS が USB2.0 に対応していない場合、PS/2 インターフェースに変更してください。このとき、製品同梱品以外のケーブルが必要になります。PS/2 のケーブルに関する詳細は、p.18 の「ケーブル」をご参照ください。</p>
<p>デバイスが認識されません。(Windows)</p>	<p>Windows がデバイスを認識するタイミングに問題があったかもしれません。</p>	<p>1. コンピュータの USB ポートから KVM ケーブルを抜いてください。</p> <p>2. [コントロールパネル]—[システム]—[ハードウェア]—[デバイスマネージャ]から不明なデバイスを削除してください。</p> <p>3. KVM ケーブルを挿しなおしてください。Windows がデバイスを認識します。</p>

SPHD コネクタについて



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。